

平成25年度第2回 新たな市政運営の総合的な指針に係る庁内策定検討  
委員会専門部会

日時 2013年5月2日（木）

午後2時

場所 職員会館ミーティングルーム

日 程

1 開会

2 議題

- (1) 専門部会委員の変更について（資料1）
- (2) 第1回専門部会の開催結果について（資料2）
- (3) 指針の全体構成について（資料3-1, 3-2, 3-3）
- (4) 長期展望について（資料4）
- (5) 目指す将来像について（資料5-1, 5-2）
- (6) 指針の名称について
- (7) 総合計画との差別化について
- (8) その他

3 閉会

（事務局 企画政策課 内線2171）

平成 25 年度第 1 回新たな市政運営の総合的な指針庁内策定検討委員会専門部会議事概要

- 1 日時 2013 年 4 月 25 日（木）午後 2 時 25 分から 5 時 15 分まで
- 2 場所 保健所 3 階中会議室
- 3 配布資料
  - (1) 策定検討委員会及び専門部会の設置について（資料 1）
  - (2) 策定検討委員会及び専門部会の委員について（資料 2）
  - (3) 今後のスケジュールについて（資料 3）
  - (4) 藤沢の目指す将来像・長期展望に関する意見提案について（資料 4～6）
  - (5) 総合計画に替わる新たな指針の策定について（藤沢市郷土づくり推進会議資料）（補足資料）
  - (6) 藤沢市歌，藤沢市市民憲章（補足資料）
- 4 議事
  - (1) 策定検討委員会及び専門部会の設置について  
資料及び補足資料（総合計画に替わる新たな指針の策定について）に基づき事務局より説明した。
  - (2) 策定検討委員会及び専門部会の委員について  
資料に基づき事務局より説明した。
  - (3) 今後のスケジュールについて  
資料に基づき事務局より説明した。
  - (4) 藤沢の目指す将来像・長期展望に関する意見提案について  
市長との懇談と部会委員との意見交換を踏まえ，市民への周知や今後の市政運営の方向性を端的に示すことに効果があること，市長公約に「長期的な視点をもった藤沢の未来像を示します。」と位置づけられていることから，将来像は分かりやすく，共感されるイメージを持つものを位置づける方向で検討を進めることとした。長期展望については，将来の見通しとして，現時点で想定できる課題となる項目を抽出することとし，政策の実現効果までは考慮しないこととした。

## ア 市長との懇談

### <将来像について>

- ・ 将来像については、10年先、20年先、30年先と見る時点によって描くことができる内容が異なってくる。
- ・ 将来像のキャッチフレーズについては、なるべく多くの意見をもとに定める。
- ・ 将来像は、現在の市政だけでなく、将来の藤沢のためにワンセンテンスで言いやすい、覚えやすいものが望ましい。
- ・ 厳しい時代にあっても、前向きになれる将来像が望ましい。
- ・ 市民の心的なものも描きつつ、目に浮かぶ情景がイメージできるものが望ましい。
- ・ 将来像は、実態に即した視点も必要であるが、同時に市歌、市民憲章から想定される普遍的な姿というものも表現したい。
- ・ 将来像は、シティプロモーションと関連することが望ましい。
- ・ 市の内外で共有できる言葉やイメージがあり、それがさらにタイアップできるものがあると広がっていくように思う。
- ・ 人口減少社会にあって、若年層が転入し、その次代までが定住できるような相乗効果を描くことが必要である。

### <長期展望について>

- ・ 長期的な見通し（長期展望）については、数値を背景にしつつ、そのトレンドを読み、整理することが必要である。データブック、市勢白書などの市政への意見が出しやすい環境の整理にもなると考えられる。
- ・ 都市基盤整備については、長期的な構想に基づくものであるため、課題を整理し、課題解決や将来像の実現に繋がる道筋をつけておくことが必要である。

## イ 部会委員の意見交換

- ・ 将来像というゴールを設定し、それまでの過程での課題を長期展望として位置づけるのか、長期的な見通しである長期展望を前提に、課題解決やより良い藤沢の姿としての将来像を描くのかの検討プロセスの整理が必要である。

- ・ 将来像を構築し、長期展望となる課題要因を示すという流れ（As Is－To Be モデル、バックキャストイング手法）であっても、課題としての長期展望から課題の裏返しとしての将来像を構築する流れ（課題解決モデル、フォワードキャストイング手法）であっても、将来像や長期展望の要素がある程度想定されていることからすれば、さほど内容に変化が出ないと思われる。
- ・ 市長公約や「郷土愛あふれる藤沢」をそのまま活かすことも検討すべきである。
- ・ 「郷土愛あふれる藤沢」がゴールなのか、「郷土愛あふれる藤沢」が形成されたときに、市民の生活が豊かになることや市民の暮らしやすさが向上していて別な姿があるのかについては整理したい。
- ・ 各部会委員から、人口推計、財政見通し、産業構造の推移、児童生徒数、待機児童数等、長期展望を位置づけるに当たって必要な情報を持ち寄る。
- ・ 長期展望は、現時点で将来を見ての課題、見通しを示すのか、例えば人口であれば、施策展開をすることにより、将来42万人を2050年まで維持するような施策結果を踏まえた積極的な展望を示すのかを整理する。
- ・ 長期展望と政策、施策は論理的な整合性が必要であるが、将来像は指針の計画期間でどこまで達成できるかということを検討すれば、高い整合性を考慮しなくても良いのではないかと考える。

## 5 次回検討事項

- (1) 長期展望に位置づけるべき課題（要因）を整理する。
- (2) 藤沢のあるべき姿を数パターン抽出する。市民の内面、心情を表すものと自然、景観、都市形成を表現するものの双方を検討する。
- (3) 長期展望とあるべき姿との整合性、ギャップの有無を確認し、有意であるかを検討する。

# 新たな市政運営の総合的な指針の構成素案

計画期間：平成26年度～平成28年度

**長期展望** 指針の背景となる向後20年程度の藤沢市を取巻く情勢の変化と課題  
①人口推計 ②歳入見通しと扶助費の見込み ③公共施設・都市基盤の老朽化 ④地震・津波への備えと対応

**めざす藤沢の姿** 5つの都市像の実現を追求することで「めざす藤沢の姿」に近づいていく。  
【めざす藤沢の姿】  
**やわらかでやさしい風に誘われる湘南の文化・産業・生活都市 藤沢**  
【5つの都市像】

- いのちと財産を守り、不安がない生活を実感できる「安全・安心都市」
- 歴史や文化、自然と四季を大切に、郷土への愛着を実感できる「文化・環境都市」
- 都市基盤と産業、観光が栄えることによって、活力を実感できる「快適・産業都市」
- 子どもからお年寄りまで、健やかな暮らしを実感できる「福祉・健康都市」
- 市政参加や地域でのパートナーシップから共生と連帯を実感できる「共生・共創・共育都市」

**重点目標と分野別方針** 将来像の実現に向け、計画期間に重点的に取り組む目標と方向性

災害などに備える (分野別方針) 防災・消防	文化・スポーツに親しむ (分野別方針) 歴史・景観・文化・生涯学習・スポーツ
豊かな環境を創る (分野別方針) 環境と緑・再生エネルギー	子どもたちを守り育む (分野別方針) 子育て支援・学校教育・青少年
市民が元気になる (分野別方針) 高齢者福祉・障がい者福祉・地域福祉・保健医療	地域経済を循環させる (分野別方針) 商工業・農水産業・観光
都市基盤を充実する (分野別方針) 都市基盤・交通・公共資産	市民自治・地域づくりを進める (分野別方針) 市民活動・地域まちづくり・平和・人権男女

**重要・主要事業** 重点目標に対してリーディングプロジェクトとなる重要事業と主要事業  
長期的課題

**市政運営の考え方** 市政運営の共通の取り組みに向けての考え方  
社会経済情勢の変化のなかであっても、「藤沢」での生活に暮らしやすさ、安心、喜びといった実感が沸き、それを第一に考え、実行する市政を「新化」「深化」「進化」しながら運営するとともに、パートナーシップに基づく「つながり」によって都市と市民、職員を育む「暮らしやすさなどの市民の実感を第一にした、「つながる」ひと・まちづくりを進める。

**行財政運営のあり方** 指針の実行の基本となる取り組みのあり方

**行財政改革の推進**  
「将来収支・経済効果を見据えた事業の効率化を図る改革」「市民サービスの質的向上を図る改革」「コスト意識の徹底を図る改革」の推進

**中期財政見通し**  
中期歳入見通しと経常的経費支出予測から政策的経費充当可能額

**各部門における取り組み（個別計画）**  
個別計画（部門別計画）における事業推進は、指針との理念の共有化を図りつつ、事業推進や進捗管理、総合的施策推進については部門別計画に委ね、役割を分担

**資料編** より理解を深めるための数値、背景

1 総合計画の課題とこの指針の取り組み 2 藤沢市の将来人口推計 3 藤沢市の将来的な課題 4 藤沢市の土地利用と都市基盤 5 これまでの藤沢市の将来像 6 市長公約（5つのビジョン） 7 分野別方針と評価指標 8 中期財政見通し（政策的経費充当可能額と投入予定事業費）



(仮称) 第一次藤沢市市政推進計画  
＜新たな市政運営の総合的な指針＞

# ふじさわ市政ナビ

## 2014-2016

2013年（平成25年） 月

藤沢市

---

## 目次

ふじさわ市政ナビの構成 .....	1
第1章 市政運営の指針 .....	2
I はじめに .....	2
1 指針策定の背景 .....	2
2 指針の対象期間 .....	2
II 将来見通し（長期展望） .....	2
1 藤沢市を取り巻く社会情勢 .....	2
2 将来課題 .....	4
III めざす藤沢の姿 .....	5
IV 重点目標と分野別方針 .....	6
VI 重要・主要事業 .....	8
第2章 市政運営における共通事項 .....	8
I 市政運営の考え方 .....	8
II 行財政運営の方針 .....	8
1 行財政改革の方針 .....	8
2 中期財政見通し .....	9
3 各部門における取り組み（個別計画） .....	10
4 進捗管理と評価, 見直し .....	10
第3章 （資料）数値や取り組みの背景 .....	10

## ふじさわ市政ナビの構成

計画期間：平成26年度～平成28年度

<p><b>長期展望</b></p>	<p>指針の背景となる向後20年程度の藤沢市を取巻く情勢の変化と課題                  ①人口推計 ②歳入見通しと扶助費の見込み ③公共施設・都市基盤の老朽化 ④地震・津波への備えと対応</p>								
<p><b>めざす 藤沢の姿</b></p>	<p>5つの都市像の実現を追求することで「めざす藤沢の姿」に近づいていく。</p> <p>【めざす藤沢の姿】</p> <p><b>やわらかでやさしい風に誘われる湘南の文化・産業・生活都市 藤沢</b></p> <p>【5つの都市像】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>いのちと財産を守り、 不安がない生活を実感できる 「安全・安心都市」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>歴史や文化、自然と四季を大切にし、 郷土への愛着を実感できる 「文化・環境都市」</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>都市基盤と産業、観光が栄える ことよって、活力を実感できる 「快適・産業都市」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>子どもからお年寄りまで、 健やかな暮らしを実感できる 「福祉・健康都市」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>市政参加や地域でのパートナー シップから共生と連帯を実感できる 「共生・共創・共育都市」</p> </div> </div>								
<p><b>重点目標 と分野別 方針</b></p>	<p>将来像の実現に向け、計画期間に重点的に取り組む目標と方向性</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">                 災害などに備える (分野別方針) 防災・消防             </td> <td style="padding: 5px;">                 文化・スポーツに親しむ (分野別方針) 歴史・景観・文化・生涯学習・スポーツ             </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">                 豊かな環境を創る (分野別方針) 環境と緑・再生エネルギー             </td> <td style="padding: 5px;">                 子どもたちを守り育む (分野別方針) 子育て支援・学校教育・青少年             </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">                 市民が元気になる (分野別方針) 高齢者福祉・障がい者福祉・地域福祉・保健医療             </td> <td style="padding: 5px;">                 地域経済を循環させる (分野別方針) 商工業・農水産業・観光             </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">                 都市基盤を充実する (分野別方針) 都市基盤・交通・公共資産             </td> <td style="padding: 5px;">                 市民自治・地域づくりを進める (分野別方針) 市民活動・地域まちづくり・平和・人権男女             </td> </tr> </table>	災害などに備える (分野別方針) 防災・消防	文化・スポーツに親しむ (分野別方針) 歴史・景観・文化・生涯学習・スポーツ	豊かな環境を創る (分野別方針) 環境と緑・再生エネルギー	子どもたちを守り育む (分野別方針) 子育て支援・学校教育・青少年	市民が元気になる (分野別方針) 高齢者福祉・障がい者福祉・地域福祉・保健医療	地域経済を循環させる (分野別方針) 商工業・農水産業・観光	都市基盤を充実する (分野別方針) 都市基盤・交通・公共資産	市民自治・地域づくりを進める (分野別方針) 市民活動・地域まちづくり・平和・人権男女
災害などに備える (分野別方針) 防災・消防	文化・スポーツに親しむ (分野別方針) 歴史・景観・文化・生涯学習・スポーツ								
豊かな環境を創る (分野別方針) 環境と緑・再生エネルギー	子どもたちを守り育む (分野別方針) 子育て支援・学校教育・青少年								
市民が元気になる (分野別方針) 高齢者福祉・障がい者福祉・地域福祉・保健医療	地域経済を循環させる (分野別方針) 商工業・農水産業・観光								
都市基盤を充実する (分野別方針) 都市基盤・交通・公共資産	市民自治・地域づくりを進める (分野別方針) 市民活動・地域まちづくり・平和・人権男女								
<p><b>重要・主要 事業</b></p>	<p>重点目標に対してリーディングプロジェクトとなる重要事業と主要事業</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">長期的課題</p>								
<p><b>市政運営 の考え方</b></p>	<p>市政運営の共通の取り組みに向けての考え方</p> <p>社会経済情勢の変化のなかにあっても、「藤沢」での生活に暮らしやすさ、安心、喜びといった実感が湧き、それを第一に考え、実行する市政を「新化」「深化」「進化」しながら運営するとともに、パートナーシップに基づいた「つながり」によって都市と市民、職員を育む「暮らしやすさ」などの市民の実感を第一にした、「つながる」ひと・まちづくりを進める。</p>								
<p><b>行財政運 営のあり方</b></p>	<p>指針の実行の基本となる取り組みのあり方</p> <p><b>行財政改革の推進</b>                  「将来収支・経済効果を見据えた事業の効率化を図る改革」「市民サービスの質的向上を図る改革」「コスト意識の徹底を図る改革」の推進</p> <p><b>中期財政見直し</b>                  中期歳入見通しと経常的経費支予測から政策的経費充当可能額</p> <p><b>各部門における取り組み（個別計画）</b>                  個別計画（部門別計画）における事業推進は、指針との理念の共有化を図りつつ、事業推進や進捗管理、総合的施策推進については部門別計画に委ね、役割を分担</p>								
<p><b>資料編</b></p>	<p>より理解を深めるための数値、背景</p> <p>1 総合計画の課題とこの指針の取り組み 2 藤沢市の将来人口推計 3 藤沢市の将来的な課題 4 藤沢市の土地利用と都市基盤 5 これまでの藤沢市の将来像 6 市長公約（5つのビジョン） 7 分野別方針と評価指標 8 中期財政見直し（政策的経費充当可能額と投入予定事業費）</p>								



## 第1章 市政運営の指針

### I はじめに

#### 1 指針策定の背景

藤沢市では、1957年（昭和32年）に策定された総合都市計画にはじまり、市長交代にあわせて、その都度新たな計画策定に取組み、これまでに7計画が策定されてきました。

この指針は、総合計画を改め、長期展望を踏まえた上で、中期的に取り組む重点的な施策、事業等を着実に推進することを目的として策定しました。

#### 2 指針の対象期間

この指針は、社会経済情勢に柔軟に対応しつつ、長期的な見通しを踏まえた上で優先的、重点的に実施すべき施策、事業等を明らかにするため、市長任期ごとに内容を見直すこととします。

### II 将来見通し（長期展望）

#### 1 藤沢市を取り巻く社会情勢

##### (1) 将来人口推計

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来人口推計」（2013年（平成25年））によると、藤沢市は、2020年（平成32年）をピークに人口が減少すると予測されています。その頃の年代構成は、0歳～14歳が全体の約10%、65歳以上が約25%となっています。

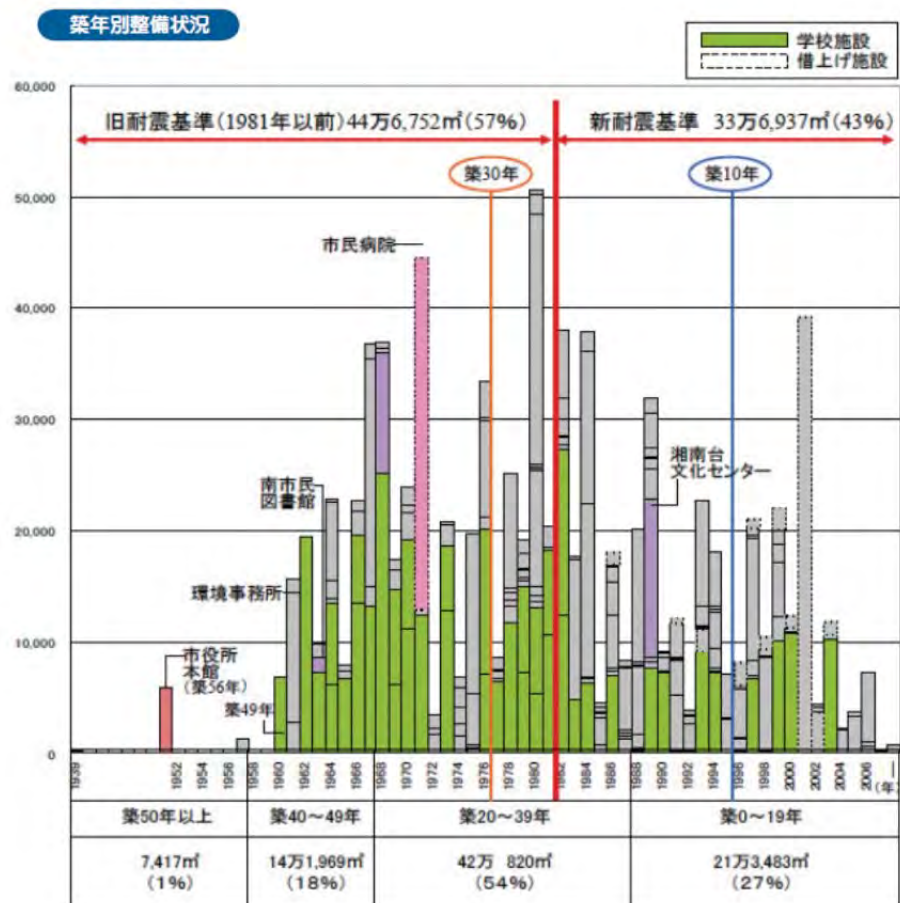


## (2) 歳入と社会保障費の見込み

歳入は経済情勢の変化に大きく影響を受けるため予測が難しいものですが、2020年（平成32年）まではほぼ横ばいで推移するものと思われます。その一方で社会保障費は、現在も毎年10億円規模で増大しており、2020年（平成32年）には約305億円となる見込みです。

## (3) 公共施設・都市基盤の老朽化

公共施設や都市基盤は、高度経済成長期に建設されたものが多く、現在はその老朽化が進んでいます。藤沢市でも築30年以上の公共施設が、床面積で全体の半分以上を占めています。



---

#### (4) 地震・津波への備えと対応

東日本大震災以降、地震、津波の被害予測について想定外にならないよう、見直しが進められています。藤沢市は、慶長型地震で津波高 10.7m が想定されるなど、地震による被害のほかにも、特に南部では津波被害の想定が大きくなっています。

## 2 将来課題

### (1) 人口減少と少子化、高齢化

藤沢市はこれまで人口減少社会にあっても人口増加を続けている数少ない自治体ですが、今後は人口減少を迎えるとともに、少子化、高齢化が一層進むことが想定されます。そのため、これらを踏まえた上で、市民ニーズに応じたサービスの目的や質、量の転換が必要になってきます。

### (2) 厳しい財政状況（歳入の減少と社会保障費の増大）

人口減少と少子化、高齢化に伴い、生産年齢人口が減少し、個人市民税や法人市民税の減少が予測されるとともに、医療給付等の社会保障費の増大により、公共施設や都市基盤に投入する経費が縮小するなど、厳しい財政状況となることが想定されます。

し構成今後到来する人口減少においても、市民生活の質と自治を維持向上するため、定住と流入を促進し得る都市基盤と市民自治を形成する必要があります。

### (3) 公共施設等の老朽化対策と将来負担

公共施設や社会基盤の老朽化が進むなか、その更新費用を捻出することが大変に厳しくなっており、今後一層その状況が進むものと予測されます。そうしたなかで、これからの人口構成や利用者層を踏まえた機能のあり方を整理する必要があります。

### (4) 備災、防災、減災、復災、克災

地震や津波に対する不安が高まるなか、災害に備え（備災）、災害から生命と財産を守り（防災）、被害を最小限にとどめ（減災）、被害を早期に復

---

旧し（復災）、災害に克つ（克災）という被害の大きさと時間の流れを意識した幅広い災害対策が必要となります。

### Ⅲ めざす藤沢の姿

藤沢には市全体をまとめ、牽引するような大きな強みはありませんが、自然、歴史、産業、市民などそれぞれに強みがあり、市民一人ひとりが見つけられる良さを持っています。このことは、経済情勢や社会の変化にも柔軟に対応できるという点で、市政運営における強みでもあります。

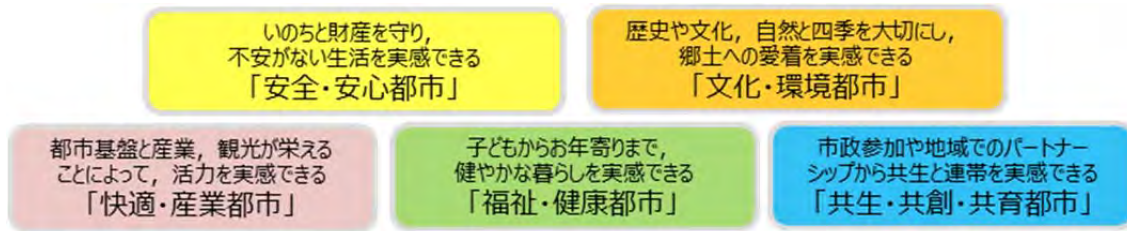
この藤沢の特徴を活かしながら、市政運営をひとつの夢に向かって進めるために、「めざす藤沢の姿」を位置づけます。また、「めざす藤沢の姿」のイメージをより深めるために「5つの都市像」を掲げます。この都市像は、相互に連携し、協調し、バランスのとれた都市を維持し、発展することをめざします。

#### 【めざす藤沢の姿】

**やわらかでやさしい風に誘われる湘南の文化・産業・生活都市 藤沢**

#### 【5つの都市像】

- ①いのちと財産を守る危機管理により、不安の少ない生活を実感できる  
「安全・安心都市」
- ②歴史や文化、自然を大切にし、郷土への愛着を実感できる  
「文化・環境都市」
- ③子どもからお年寄りまで、健やかな暮らしを実感できる  
「福祉・健康都市」
- ④都市基盤が充実し、産業が栄えることで、活力を実感できる  
「快適・産業都市」
- ⑤市政参加や地域でのパートナーシップから共生と連帯を実感できる  
「共生・共創・共育都市」



#### IV 重点目標と分野別方針

「めざす藤沢の姿」の実現に向けて、一步一步着実な歩みを進めるため、重点目標として、重点的に取り組む政策と、その政策を踏まえた各分野の基本的な方針について示します。

##### 重点目標1 災害などに備える

東日本大震災の地震・津波災害を貴重な教訓として、藤沢の災害対策を更に充実させるとともに、火災、救急活動における迅速化と高度化を図ります。また、日頃からの備えとして、地域での備えや支えあいを進めます。これらによって、市民が不安なく安心して暮らせる都市を整備します。この目標に向かって消防、防災、防犯、交通安全等の取り組みを進めます。

##### 重点目標2 文化・スポーツに親しむ

藤沢の様々な歴史、後世に伝え残すべき景観を生かしつつ、市民による芸術文化活動と湘南の地域特性を生かした生涯スポーツ活動の場をつくることにより、市民一人ひとりが身近に文化・スポーツを楽しめる環境を創出します。この目標に向かって、場をつくることにより、景観、芸術文化、生涯学習、スポーツ等への取り組みを進めます。

##### 重点目標3 豊かな環境を創る

美しい湘南海岸や緑豊かな相模野台地をはじめとする、恵まれた自然環境は、人々を惹きつけ、藤沢への愛着を生む大切な財産であるため、これらを守り育てるとともに、エネルギーの地産地消や効率的利用を図り、市民生活と都市の持続性を向上します。この目標に向かって、海、川、土、みどり等の自然環境と廃棄物、資源、エネルギー等の生活環境に対する取

---

り組みを進めます。

#### **重点目標4 子どもたちを守り育む**

地域全体で子どもたちを見守り支えあい、子どもたちが健全に育つ環境をつくることにより、次代の都市社会の活力を創出します。この目標に向かって、子育て支援、学校教育、青少年の健全育成等への取り組みを進めます。

#### **重点目標5 市民が元気になる**

すべての市民が生涯を通じて、馴染み深い地域の中で心も身体も元気で、その人らしくいつまでも生きがいをもって暮らし続けられる環境を整え、市民一人ひとりに対応した、きめ細かな福祉を充実し、健康を増進します。この目標に向かって、高齢者福祉、障がい者福祉、地域福祉、保健医療等の取り組みを進めます。

#### **重点目標6 地域経済を循環させる**

「地域経済の循環」とは、市内でお金がまわる仕組みをつくることにより、市内産業を発展させ、市民への還元を高める本市の経済再生を図ります。この目標に向かって、広く市内農水産業、商工業、観光等への取り組みを進めます。

#### **重点目標7 都市基盤を充実する**

市民生活を支え、経済の活性化を促し、都市の優位性を高めるために、長期的な視点に立って市民生活の変化や経済情勢に対応した都市基盤施設の改善・整備を進めます。社会資本全体の再整備は、現有する資産を有効に活用しつつ長寿命化させつつ、新たな整備を進め、市民にとって安全、快適で便利な都市としての充実を図ります。この目標に向かって、道路、橋、下水道をはじめとする都市基盤、交通体系、公共資産等の整備を進めます。

#### **重点目標8 市民自治・地域まちづくりを進める**

市民自治が育まれてきた長い市政の歴史を、時代に即した形で継承、発



---

展し、地域社会に根差した市民活動、まちづくりを活発にします。また市民が中心の都市として、差別や偏見、争いのない環境を整備します。これらの目標に向かって、市民自治、地域まちづくり、平和、人権男女等の取り組みを進めます。

## VI 重要・主要事業

指針に位置づける事業は、重点目標の達成に向けて必要な事業のうち、特に指針の期間において実行すべきものとしします。

主要事業のうちリーディングプロジェクトとなる事業や特に重点的に注力する事業については、重要事業として位置づけます。

## 第2章 市政運営における共通事項

### I 市政運営の考え方

社会経済情勢の変化のなかにあっても、「藤沢」での生活に暮らしやすさ、安心、喜びといった実感が沸き、それを第一に考え、実行する市政を「新化」「深化」「進化」しながら運営するとともに、パートナーシップに基づく「つながり」によって都市と市民、職員を育む「暮らしやすさなどの市民の実感を第一にした、「つながる」ひと・まちづくり」を進めます。

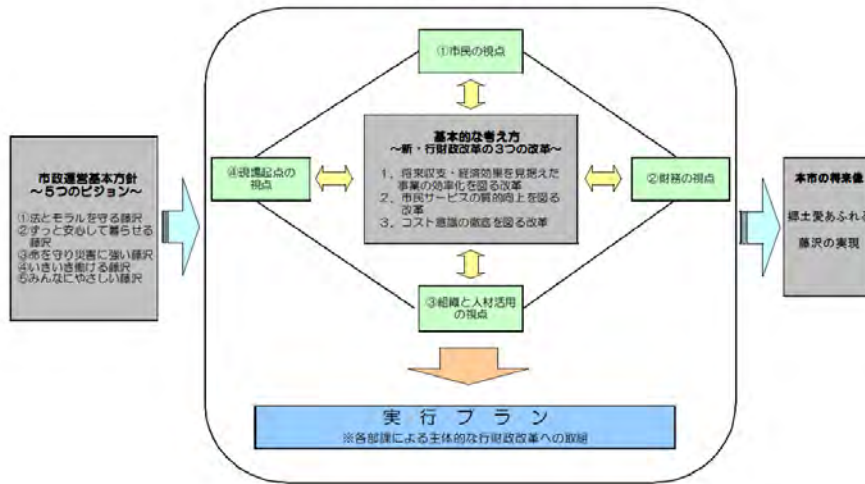
### II 行財政運営の方針

行財政運営のあり方として、行財政改革の方針、中期財政見通し、各部門における取り組みを示します

#### 1 行財政改革の方針

「藤沢市 新・行財政改革基本方針」に基づく、「将来収支・経済効果を見据えた事業の効率化を図る改革」「市民サービスの質的向上を図る改革」「コスト意識の徹底を図る改革」を進めます。

## 新・行財政改革のイメージ



## 2 中期財政見通し

中期歳入見通しと経常的経費支出予測から政策的経費充当可能額を示します。

(単位：百万円)

(歳入見込)	平成23年度見込		平成24年度見込		平成25年度見込		平成26年度見込		平成27年度見込		平成28年度見込	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
市税	71,012	71,012	73,385	73,385	72,629	72,629	72,471	72,471	70,897	70,897	70,789	70,789
その他	14,235	4,929	12,041	4,324	12,511	4,871	10,646	4,424	10,248	4,024	10,249	4,024
自主財源計	85,247	75,941	85,406	77,689	85,140	77,500	83,117	76,895	81,202	74,981	81,017	74,793
地方債与邦等	5,294	3,294	5,474	3,474	5,474	3,474	5,474	3,474	5,474	3,474	5,474	3,474
国庫支出金	20,817	0	20,832	0	21,051	0	21,800	0	22,708	0	23,521	0
県支出金	6,502	0	6,402	0	6,848	0	6,896	0	7,311	0	7,378	0
その他	8,933	2,531	9,231	4,291	9,047	4,933	8,753	4,993	8,738	4,993	8,793	4,993
依存財源計	36,414	7,785	41,925	9,889	41,419	10,469	40,223	10,469	44,221	10,469	45,368	10,469
合計(注)	124,661	83,726	127,331	87,578	126,559	87,969	123,340	87,370	125,423	85,450	126,385	85,262

(歳出見込)	平成23年度見込		平成24年度見込		平成25年度見込		平成26年度見込		平成27年度見込		平成28年度見込	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
人件費	26,202	24,837	26,386	25,604	26,747	25,945	27,033	26,226	27,421	26,593	27,638	26,808
扶助費	22,381	4,340	24,150	4,688	24,875	4,828	25,621	5,071	26,390	5,324	27,182	5,588
公債費	10,137	9,111	10,309	9,978	10,432	10,113	9,784	9,471	9,334	8,038	9,334	8,038
その他	20,620	15,889	20,585	16,870	20,271	16,609	20,348	16,893	20,300	16,304	20,220	16,312
経常的経費計(注)	79,320	54,212	81,440	57,141	82,345	57,553	82,761	57,661	83,449	57,801	84,960	58,262
政策的経費投入可能財源(注一)	45,322	29,414	45,891	30,417	44,212	30,414	43,361	29,709	41,981	27,538	42,023	29,588

(単位：百万円)

(歳入見込)	平成23年度見込		平成24年度見込		平成25年度見込		平成26年度見込		平成27年度見込		平成28年度見込	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
市税	70,789	70,789	70,789	70,789	70,789	70,789	70,789	70,789	70,789	70,789	70,789	70,789
その他	10,248	4,024	10,248	4,024	10,248	4,024	10,248	4,024	10,248	4,024	10,248	4,024
自主財源計	81,017	74,793	81,017	74,793	81,017	74,793	81,017	74,793	81,017	74,793	81,017	74,793
地方債与邦等	5,474	3,474	5,474	3,474	5,474	3,474	5,474	3,474	5,474	3,474	5,474	3,474
国庫支出金	23,521	0	23,521	0	23,521	0	23,521	0	23,521	0	23,521	0
県支出金	7,578	0	7,578	0	7,578	0	7,578	0	7,578	0	7,578	0
その他	8,793	4,993	8,793	4,993	8,793	4,993	8,793	4,993	8,793	4,993	8,793	4,993
依存財源計	45,368	10,469	45,368	10,469	45,368	10,469	45,368	10,469	45,368	10,469	45,368	10,469
合計(注)	126,385	85,262	126,385	85,262	126,385	85,262	126,385	85,262	126,385	85,262	126,385	85,262

(歳出見込)	平成23年度見込		平成24年度見込		平成25年度見込		平成26年度見込		平成27年度見込		平成28年度見込	
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
人件費	27,715	26,888	27,888	26,732	28,385	27,501	28,204	27,381	27,804	28,393	28,291	27,411
扶助費	27,387	5,876	28,827	6,183	29,702	6,471	30,593	6,793	31,511	7,135	32,454	7,493
公債費	9,129	8,837	9,129	8,837	9,001	8,713	9,127	8,820	9,116	8,826	9,109	8,818
その他	20,190	16,852	20,197	16,857	20,209	16,867	20,216	16,872	20,202	16,856	20,190	16,841
経常的経費計(注)	64,021	58,453	66,021	58,609	67,277	58,553	66,190	58,833	66,615	59,776	60,946	58,561
政策的経費投入可能財源(注一)	41,302	29,817	40,831	29,822	39,108	29,709	38,193	29,588	37,744	29,493	36,338	29,701

※政策的経費投入可能財源については、新総合計画事業費(含地域分)を含む経常的経費の総額です。



---

### 3 各部門における取り組み（個別計画）

個別計画（部門別計画）における事業推進は、指針との理念の共有化を図りつつ、事業推進や進捗管理、総合的施策推進については部門別計画に委ね、役割を分担する。

### 4 進捗管理と評価、見直し

## 第3章 （資料）数値や取り組みの背景

- 1 総合計画の課題とこの指針の取り組み
- 2 藤沢市の将来人口推計
- 3 藤沢市の将来的な課題
- 4 藤沢市の土地利用と都市基盤
- 5 これまでの藤沢市の将来像
- 6 市長公約（5つのビジョン）
- 7 分野別方針と評価指標
- 8 中期財政見通し（政策的経費充当可能額と投入予定事業費）

## 新たな指針の構成と内容について

### 将来見通し（＝長期展望）

#### 1 必要性

向後 20 年程度の藤沢市を取巻く情勢の変化について、数値的な背景を踏まえつつ、将来における社会問題の要因となり得る項目について展望する必要により位置づけます。

#### 2 内容

次の内容を位置づけます。

##### (1) 本市を取り巻く社会情勢

将来に向けての市政運営上、影響を与えると想定される項目について、その動向を分析します。

ア 将来人口推計（総人口、3 区分年代別人口、地区別人口）

イ 歳入と社会保障費の見込み（中長期財政見通しは別に記載）

ウ 公共施設・都市基盤の老朽化

エ 地震・津波への備えと対応

##### (2) 将来課題

社会情勢の状況分析に加え、藤沢の将来を想定した考慮すべき課題を位置づけます。

ア 少子化，高齢化，生産年齢の減少

イ 厳しい財政状況（歳入の減少と社会保障費の増大）

ウ 公共施設の老朽化対策と将来負担

エ 備災，防災，減災，復災，克災

### 長期展望

指針の背景となる向後 20 年程度の藤沢市を取巻く情勢の変化と課題

① 人口推計 ② 歳入見通しと扶助費の見込み ③ 公共施設・社会基盤の老朽化 ④ 地震・津波への備えと対応

### めざす藤沢の姿（＝将来像）

#### 1 必要性

次の項目の必要性により，位置づけます。

## ア 分かりやすさ

行政計画として、市民の意見を聞きながら市がまとめ、市民に訴求し、理解を得るためにも分かりやすいイメージを定義する必要によります。

## イ 市長公約

「いきいき働ける藤沢」に「長期的なビジョンを持った市の未来像を策定します。」とあり、公約達成のためにも明確な形で定義する必要によります。

## 2 内容

内容については、次の要素を満たす必要があります。

### (1) 総合性・網羅性

重点化計画として将来像、施策の重点化、選択を表すことは、体系上の効果が高いものと想定されますが、その反面、市長公約を達成し、鈴木市政における総合的な取り組みを考慮した際に、未着手、未実施の印象を受ける可能性があるため、重点政策に繋がる都市像を示しつつ、一定の総合性、網羅性を有することが必要となります。

### (2) 市長公約の反映

市長の掲げる「郷土愛あふれる藤沢」と「5つのビジョン」は政策レベルよりも大きい範囲で示されており、公約事業との紐付けを考慮する上で将来像のレベルに位置づける必要があります。その場合、完全一致又は溶け込みの方法が想定されますが、普遍性を持たせる上では、市歌、市民憲章、都市宣言、過去の将来像にあわせて市長公約を溶け込ませることが妥当であると考えます。

### (3) 分かりやすく、親しみやすい惹句

職員、市民への浸透を図るため、イメージが伝わりやすく、共感されやすいよう、ワンフレーズの惹句(キャッチフレーズ)とすることが必要となります。

## 3 提案

5つの都市像を掲げつつ、めざす藤沢の姿により都市像をひとつにまとめます(下線は市長公約等から、太字は市歌、市民憲章等からの反映)。

### めざす藤沢の姿

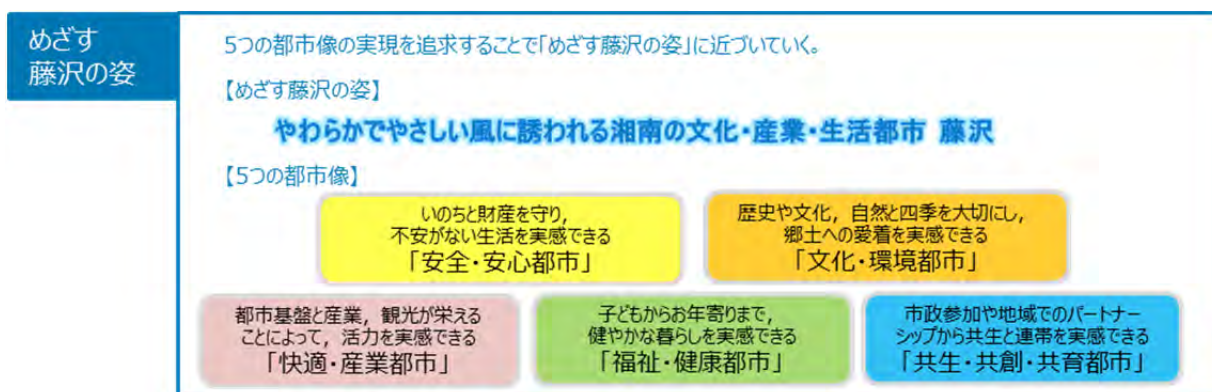
やわらかでやさしい風に誘われる湘南の**文化・産業**・生活都市 藤沢

### 5つの都市像

- ・ いのちと財産を守り、不安がない生活を**実感**できる「安全・安心都市」

(命を守り災害に強い藤沢)

- ・ 歴史や文化，自然と四季を大切にし，郷土への愛着を実感できる「文化・環境都市」（郷土愛あふれる藤沢，いきいき働ける藤沢）
- ・ 子どもからお年寄りまで，健やかな暮らしを実感できる「福祉・健康都市」（みんなにやさしい藤沢）
- ・ 都市基盤と産業，観光が栄えることによって，活力を実感できる「快適・産業都市」（いきいき働ける藤沢）
- ・ 市政参加や地域でのパートナーシップから，共生とつながりを実感できる「共生・共創・共育都市」（ずっと安心して暮らせる藤沢，法とモラルを守る藤沢）



## 重点目標と分野別方針（＝重点政策・主要な施策）

### 1 必要性

将来像の実現に向けた具体的な取り組みの方向性を位置づける必要があります。そのため重点目標として，重点的に取り組む政策を位置づけるとともに，重点政策を踏まえた各分野の基本的な方針について示します。重点政策と主要な施策は政策と分野別方針として一体化させることとします。重点化計画としての特徴づけは，事業の重点化によるものとします。

（重点政策と主要な施策を一本化する理由）

政策と施策の両方を位置づけることは，指針を体系化しやすくする反面で，政策数に応じて施策数も増えることから体系が複雑に見えることがあります。分かりやすい計画体系を維持するため，各政策における説明内容として分野別目標（施

策)を位置づけます。

(重点目標の範囲)

重点目標については、次の理由により政策を限定することが困難であるため、幅広く位置づけます。

- (1) 「めざす藤沢の姿」と「5つの都市像」は将来に亘る実現を目標としているが、その実現には、総合的な政策の取り組みが必要となるため。
- (2) 重点化されない政策は実施していないように認識される可能性があるため、政策レベルでは総花的せざるを得ない状況を考慮する必要があるため。
- (3) どの部門の事業でも重要・主要事業として位置づけることができる体系を維持する必要があるため。

## 2 内容

内容については、次の点を考慮する必要があります。

### (1) 平成25年度施政方針との連続性

平成25年度施政方針には「実感」を高める7つの「重点政策」が位置づけられており、この内容との整合を図り、連続性を担保する必要があります。

### (2) 政策の補完

重要・主要事業の変化に対応し、事業を浮かび上がらせるため、政策は網羅性を確保するように、全体を補完できる政策を位置づける必要があります。

## 3 提案

8つの重点目標と目標に対応する分野を位置づけます。

### ・重点目標1 災害などに備える

東日本大震災の地震・津波災害を貴重な教訓として、藤沢の災害対策を更に充実させるとともに、火災、救急活動における迅速化と高度化を図ります。また、日頃からの備えとして、地域での備えや支えあいを進めます。これらによって、市民が不安なく安心して暮らせる都市を整備します。この目標に向かって消防、防災、防犯、交通安全等の取り組みを進めます。

### ・重点目標2 文化・スポーツに親しむ

藤沢の様々な歴史、後世に伝え残すべき景観を生かしつつ、市民による芸術文化活動と湘南の地域特性を生かした生涯スポーツ活動の場をつくることにより、市民一人ひとりが身近に文化・スポーツを楽しめる環境を創出し

ます。この目標に向かって、場をつくることにより、景観、芸術文化、生涯学習、スポーツ等への取り組みを進めます。

・重点目標3 豊かな環境を創る

美しい湘南海岸や緑豊かな相模野台地をはじめとする、恵まれた自然環境は、人々を惹きつけ、藤沢への愛着を生む大切な財産であるため、これらを守り育てるとともに、エネルギーの地産地消や効率的利用を図り、市民生活と都市の持続性を向上します。この目標に向かって、海、川、土、みどり等の自然環境と廃棄物、資源、エネルギー等の生活環境に対する取り組みを進めます。

・重点目標4 子どもたちを守り育む

地域全体で子どもたちを見守り支えあい、子どもたちが健全に育つ環境をつくることにより、次代の都市社会の活力を創出します。この目標に向かって、子育て支援、学校教育、青少年の健全育成等への取り組みを進めます。

・重点目標5 市民が元気になる

すべての市民が生涯を通じて、馴染み親しんだ地域の中で心も身体も元気で、その人らしくいつまでも生きがいをもって暮らし続けられる環境を整え、市民一人ひとりに対応した、きめ細かな福祉を充実し、健康を増進します。この目標に向かって、高齢者福祉、障がい者福祉、地域福祉、保健医療等の取り組みを進めます。

・重点目標6 地域経済を循環させる

「地域経済の循環」とは、市内でお金がまわる仕組みをつくることにより、市内産業を発展させ、市民への還元を高める本市の経済再生を図ります。この目標に向かって、広く市内農水産業、商工業、観光等への取り組みを進めます。

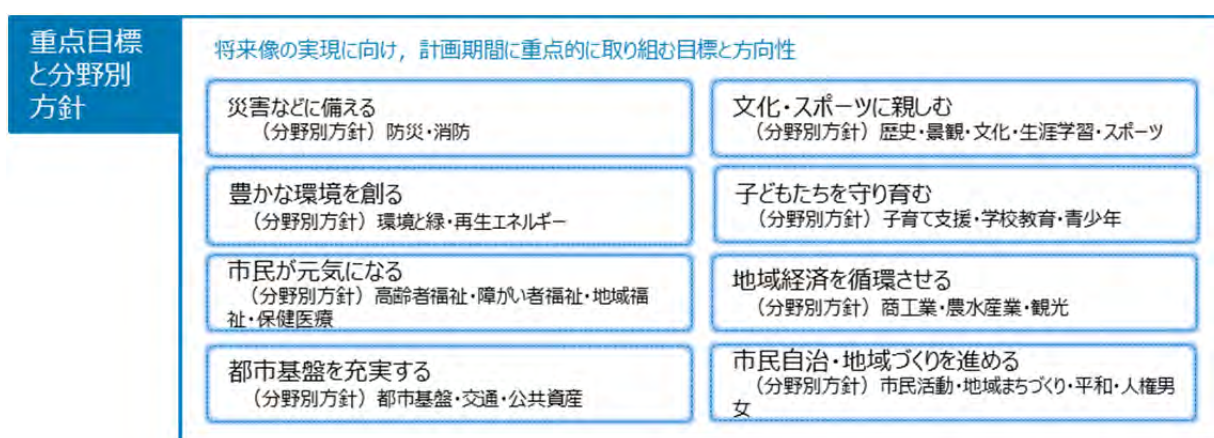
・重点目標7 都市基盤を充実する

市民生活を支え、経済の活性化を促し、都市の優位性を高めるために、長期的な視点に立って市民生活の変化や経済情勢に対応した都市基盤施設の改善・整備を進めます。社会資本全体の再整備は、現有する資産を有効に活用しつつ長寿命化させつつ、新たな整備を進め、市民にとって安全、快適で便利な都市としての充実を図ります。この目標に向かって、道路、橋、下水

道をはじめとする都市基盤，交通体系，公共資産等の整備を進めます。

### ・重点目標 8 市民自治・地域まちづくりを進める

市民自治が育まれてきた長い市政の歴史を、時代に即した形で継承，発展し，地域社会に根差した市民活動，まちづくりを活発にします。また市民が中心の都市として，差別や偏見，争いのない環境を整備します。これらの目標に向かって，市民自治，地域まちづくり，平和，人権男女等の取り組みを進めます。



### 重要・主要事業

指針に位置づける事業は，重点目標の達成に向けて必要な事業のうち，特に指針の期間において実行すべきものとします。

主要事業のうちリーディングプロジェクトとなる事業や特に重点的に注力する事業については，重要事業として位置づけます。

### 市政運営の考え方

社会経済情勢の変化のなかにあっても，「藤沢」での生活に暮らしやすさ，安心，喜びといった実感が沸き，それを第一に考え，実行する市政を「新化」「深化」「進化」しながら運営するとともに，パートナーシップに基づく「つながり」によって都市と市民，職員を育む「暮らしやすさなどの市民の実感を第一にした、「つながる」ひと・まちづくり」を進めることを市政運営における共通の考え方として，別章に位置づけます。

## 行財政運営のあり方

行財政運営のあり方として、行財政改革の方針、中期財政見通し、各部門における取り組みを別章に位置づけます。

### 1 行財政改革の方針

「藤沢市 新・行財政改革基本方針」に基づく、「将来収支・経済効果を見据えた事業の効率化を図る改革」「市民サービスの質的向上を図る改革」「コスト意識の徹底を図る改革」を位置づけます。

### 2 中期財政見通し

中期歳入見通しと経常的経費支出予測から政策的経費充当可能額を算出します。

### 3 各部門における取り組み（個別計画）

個別計画（部門別計画）における事業推進は、指針との理念の共有化を図りつつ、事業推進や進捗管理、総合的施策推進については部門別計画に委ね、役割を分担します。

## 資料編

本編は極力分かりやすく簡潔なものとするため、背景、数値等については、資料編として別章立てとします。

- 1 総合計画の課題とこの指針の取り組み
- 2 藤沢市の将来人口推計
- 3 藤沢市の将来的な課題
- 4 藤沢市の土地利用と都市基盤
- 5 これまでの藤沢市の将来像
- 6 市長公約（5つのビジョン）
- 7 分野別方針と評価指標
- 8 中期財政見通し（政策的経費充当可能額と投入予定事業費）